

例年以上の厳しい寒さの冬が終わり、ようやく長野にも春がゆっくりと近づいてきました。

今年こそ交流をと意気込んで新年度を迎えた 1 年前でしたが、4 月の長野地区の総括の集まりを急遽郵送での資料の送り合いに切り替えました。そして新型コロナウイルスの感染が一時的に落ち着いた秋に、年長交流は 1 回のみ。何回かの年齢部会に顔を合わせた以外は、2021 年度のすべての年長交流・年齢部会はメール交流となりました。

しかしそれぞれ年 2 回のメールを含む年齢部会では、多岐にわたり子どものこと、他園に聞きたいこと、歌やリズムや製作などの情報交換など、忌憚のないやり取りができ長野地区の仲間の存在を改めて心強く確認することができました。長野地区各保育園の活動をお伝えします。

山の子保育園

信州高遠青少年自然の家

12 月に長野県の南信にある信州高遠青少年自然の家で 2 泊 3 日のお泊まりをしました。子ども達の中でも年長のお泊まりと言えば“高遠”というイメージがあり、4 月から「高遠はいつ行くの〜？」と待ち望んでいた高遠。コロナが落ち着いた 12 月にようやく行く事ができました。今までお泊まりに対して不安感があった子も「あと何回寝たらお泊まりだ！」と期待感を持っている姿もありました。

当日はみんなが園庭から見送りをしてくれる中、誇らしい表情で出発していきました。高遠では、クリスマスブーツの制作を進めました。絵の具の使い方も慣れてきてクリスマスのイメージを広げながら制作を楽しみました。また、最終日には高遠の方々へのお礼として、高遠での思い出を描画の共同制作にしました。「みんなで歌うたっー！」「〇〇が川に落ちて足が濡れちゃったね〜」とみんなでの経験を思い出しながら楽しんで描きました。中には、宿舎にしていたカメムシの絵まで描く子もいました。その他にも沢山の探検を楽しんだりホールでも集団遊び、山の中のアスレチックで遊んだり体もたくさん動かした 3 日間でした。2 泊 3 日の中でも、体調が優れない子のボストンバックを協力して持ってあげたり夜に寂しそうな友達に寄り添っていたり、子ども同士での助け合い、支え合いが感じられました。不安を抱えていた子も仲間の中で乗り越えることができました。これからの卒園期、仲間の中で一人ひとりが豊かに乗り越えていきたいと思います。



制作



森のアスレチック

年長かもしか組のお店屋さんごっこ

海野保育園

2 月「ちいさいクラスの子にお客さんになってもらおう」と準備を進めホールに提灯を飾りお店屋さんを開店しました。子ども達はグループごとにアイデアを出し合い様々なものを作り出しました。自分たちが考えたことを形にする面白さや仲間と一緒に取り組む楽しさを感じながら短い準備期間でしたが、子ども達はとてもはりきっていました。「いらっしやい、いらっしやい」と大きな声をだしながら 0 歳児、1 歳児の子が店の前に立つと腰をかがめて「何がいい？」と聞く姿にほっと和む瞬間があり、小さい子に対する接し方が自然と身についているんだなと感じる場面でした。どの店も完売し、お化け屋敷には行列ができるほどでした。子ども達は口々に「楽しかった〜」と満足気。何よりも自分たちが準備してきたことに誰かが喜んでくれていたのが嬉しかったのだと思います。



山形やまのこ保育園

旧篠ノ井線廃線敷ハイキング

やまのこ保育園では、コロナウイルスの感染が収まっていた 6 月に、地元の山に散策へでかけ、お泊りをしました。10 月末には安曇野市の明科にある、旧篠ノ井線の廃線敷ハイキングコースへでかけました。子どもたちは、線路の砂利道を歩きながら、「ここに線路があったのかなー？」「今はどこへ行ったんだろう？」と想像を膨らませながら歩きました。時々、昔の信号跡や、見晴らし台など、人が一人だけ登れるような櫓があり、そこを一人ずつ登ってみたりしながら歩きました。ちょうど前の日に天狗のお話を園長に読んでもらっていたので、天狗の持っているような葉っぱで天狗の真似をして遊んだり、木のつるでリースを作ったりしながら歩く子もいました。途中の広場では斜面があり、登って降りてを繰り返す元気な子どもたちでした。

最後は、お待ちかねの昔のトンネルをくぐってゴールです。ゴールの場所からは、下の町の景色や、北アルプスの山々も綺麗に見ることができ、楽しい遠足になりました。



上高田保育園

「黄金のかもしか」の壁画制作

コロナ禍の中で、行事も中止になったり、時間短縮したりする中で、私たちは、生活の土台「食べる、寝る、遊ぶ、働く」ことを大事にしてきました。運動会で、思う存分、身体を使い、自分たちで、園庭で田んぼを造り、田植え、稲刈り、ハゼかけ、脱穀、精米と子どもたちで作業しながら、皆で遊ぶ、皆で働くことを大事にしてきました。そして、11 月の中頃、園長に「黄金のかもしか」の絵本を読んでもらい、壁画の制作にとりかかりました。1 枚の透明のビニールパネルを 12 枚に切り絵を貼り、全長 10m の壁画が完成しました。制作に取り組む、子どもたちの集中力は、すばらしく、10 日間で仕上げました。壁画は、12 月、創立 40 周年記念として、長野県立美術館で飾られ、たくさんの卒園児、在園児に見てもらい、皆さんに祝っていただきました。

さくら・さくらんぼ保育に転換して、17 年が経ちます。今も、変革の途上にある中、この保育を学びたいという親や、職員になった親も出てきました。

そして、1 週間の創立記念では、「アリサ」の上映等の企画、準備、当日の運営を父母会、父母会 OB がすべて、担ってくれました。



秋の研修会は、2022 年 11 月 18 日~20 日に長野県での開催が予定されています。長野地区では「戦争と平和について考えてもらえる研修会にしたい。」という願いのもとに、検討中です。戦争の犠牲となった方々を偲ぶ施設の見学も日程に加えたいと思っています。

そして今まさに「ロシアのウクライナ侵攻」という事態を目の当たりにし、「多数のウクライナ国民が死傷し、避難を余儀なくされていることは、断じて容認できない。」という思いを強くしています。